

「大分市観光戦略プラン」（案）の市民意見公募で寄せられた意見の概要とそれに対する本市の考え方

意見募集期間：平成29年1月13日（水）～平成29年2月13日（月）

意見提出者数：6人

意見件数：10件

【意見の内訳と件数】

意見の概要	件数
(1) 第4章 2. 7つの基本方針と基本施策に関すること	9
(2) 第4章 3. 重点戦略（リーディングプロジェクト）に関すること	1
合計	10

(1) 第4章 2. 7つの基本方針と基本施策に関すること

番号	該当ページ	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	33	<p>「基本方針1 地域資源を活用した観光振興の推進」部分について、実際の実現方法の一つにスマートフォンなどのスマートデバイスを活用したサービスを大分市より提供することを検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>基本方針1「地域資源を活用した観光振興の推進」をはじめ基本方針3「インバウンド観光の推進」基本方針4「MICE・都市型観光の推進」などを実現するためにスマートフォンなどのスマートデバイスの活用は必要と考えております。</p> <p>本プランでは、旅行者がストレスなく快適に観光できるよう、基本方針6として「受入環境整備の推進」を掲げており、具体的な施策としては、AR技術などICTを活用した多言語対応の観光アプリの導入等に取り組むこととしております。</p>
2	33	<p>大分市の観光振興にあたっては、他都市の真似などをするのではなく、既存の食や歴史、文化、景観などを十分に活用してはどうか。</p> <p>「例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛井や高田の輪中といった町並みなど既存の地域資源に郷土料理などの観光資源が結びつくことにより観光誘客につながるのではないだろうか。 ・大野川や大分川流域の市町村と連携して、川をきれいにする活動や流域の観光資源を周遊させる仕組みをつくるなどの取組を行うことはできないか。 ・これからの観光は、個々の方が楽しめる体験型のものが必要であり、商業や農業などとリンクしたものを観光にしてはどうか。 ・まつりを観光にしたいとあるが、市内には山車を使った集落規模のまつりが点在しているので、多くの人が見に行けるよう情報を整理するべきではないか。 	<p>本プランでは、基本方針1「地域資源を活用した観光振興の推進」や基本方針2「戦略的な広域観光の推進」とあわせ、重点戦略（リーディングプロジェクト）にも取り組むこととしており、高田地域に残る輪中などといった既存の地域資源をさらに磨き上げ、郷土料理などの資源と結び付けた誘客を図ったり、河川など共通の地域資源を有する関係市町村を周遊するコースの造成などにも取り組むこととしております。また、農業や林業などを含めた体験型産業観光プログラムの開発に取り組むこととしています。</p> <p>さらに、地域に根ざした多彩なまつりや伝統芸能などの文化的な観光資源に光をあてるとともに、積極的に情報発信を行うこととしており、既存の地域資源も十分活用した大分らしい観光振興に取り組んでまいります。</p>
3	33	<p>新たな魅力を造り出すことも大切だと思うが、現存する「本物」を守り、活用していくことによって「おおいた産」「大分らしさ」を創り出し、観光客に魅力を感じてもらえるのではないだろうか。</p>	<p>地域資源の掘り起こしに取り組むとともに、旅行者に魅力を感じてもらえるよう現存する観光資源のさらなる磨き上げと積極的な情報発信に取り組んでまいります。</p>

4	34	久住（竹田市）で行っている、ソフトクリームのスランプリーのようなものを大分市でも実施してみてもどうか。	本市への誘客や、周遊促進を図る手法の一つとして検討してまいります。
5	35	大分市に唯一残っている「戸次本町の歴史的町並み」、帆足本家酒蔵（大分市指定登録有形文化財）、「富春館」「松石不老館」（国登録有形文化財）などの歴史的建築景観を活かした町めぐりなどの施策を取り入れるべき。	「戸次本町の歴史的町並み」や「帆足本家酒造蔵」などについては、本市の歴史的な観光資源とらえていることから、35ページ記載の基本方針1基本施策（3）「歴史を活かす」において、以下のとおり文言を追記します。 →前文：「『後藤家住宅』『池見家住宅』をはじめとする歴史的建築物」を「『後藤家住宅』『池見家住宅』『帆足本家酒造蔵』をはじめとする歴史的建築物」に改めます。 なお、リーディングプロジェクト①「大分駅を起点にした旅で旅行者の滞在時間・旅行消費額を拡大します！」において、それぞれの観光資源をつなげた観光コースを設定することとしております。 その中で、在町として栄えた戸次本町の歴史的街並みなどの観光資源についても、コースの1つとして検討を行います。
6	36	大分市美術館収蔵（富春館記念室）の豊後南画里帰り展などを企画していただき、戸次まで観光客に足を運ぶ施策を取り入れてほしい。	リーディングプロジェクト①「大分駅を起点にした旅で旅行者の滞在時間・旅行消費額を拡大します！」において、それぞれの観光資源をつなげた観光コースを設定することとしております。 その中で、目的地までの交通手段や所要時間等も含めた情報を提供できるパンフレットを作成するなど、旅行者が各地域を周遊しやすい仕組みづくりに取り組みます。
7	39	基本方針1基本施策（8）の「まつり・イベントを活かす」のなかで、「大分七夕まつり」など市内のいろいろなまつりやイベントについて、ホームページでの情報発信のほかに、開催のタイミングに合わせたキャラバンなどに取り組み、市外・県外の人にPRをしてみてもどうか。	基本方針1基本施策（8）「まつり・イベントを活かす」において、季節に応じた戦略的な情報発信を行うこととしており、キャラバンなども含め戦略的な情報発信に努めてまいります。
8	39	「大野川合戦まつり」「大南市場」などの地域ボランティアを中心に開催しているイベントを観光に結び付ける施策をお願いしたい。	まつりやイベントなどの情報を食や温泉といった他の観光資源と併せて積極的に情報発信を行い、さらなる誘客とリピーターの獲得に取り組みます。

9	49	地域のボランティアガイドによるおもてなしの取組やまつり・イベントなどに対する大分市の具体的な施策を提示していただきたい。	ボランティアガイドや交通事業者などをはじめとする観光関連事業者を対象とする講習会を開催するなど、連携・協力を図りながらおもてなしのまちづくりを進めてまいります。 また、「大野川合戦まつり」をはじめとしたまつりやイベントなどの観光情報の発信を積極的に行い、交流人口の拡大に努めます。
---	----	--	---

(2) 第4章 3. 重点戦略（リーディングプロジェクト）に関すること

番号	該当ページ	意見の概要	意見に対する本市の考え方
10	53	大分県には「別府」や「由布院」という全国有数の観光地があるが、広域連携の点でまだまだ課題があると思う。 その課題解決のために、大分県の玄関口であるという大分市の特徴を活かしていくという方針は良いと思うが、大分市の弱点を補っていく方法等をもう少し具体的に記載すべきではないか。	本市の弱点を補うため、特に情報発信の面において県や周辺市町村と連携を図ってまいります。 また、53ページ記載のリーディングプロジェクト②「大分市を宿泊拠点にした広域観光を推進します！」において、以下のとおり文言を追記します。 →①前文：「主要な観光ルートを中心とした集中的なプロモーションなどを行います」を「広域連携による強力な情報発信力を活かし、主要な観光ルートを中心とした集中的なプロモーションなどを行います」に改めます。 ・②〈推進のステップ〉2017（H29）年度③：「県や周辺自治体と連携し」を「県や別府市・由布市など周辺自治体と連携し」に改めます。